

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件名 令和4年度性能評価センター庁舎等警備請負

開札年月日 令和4年3月22日（落札決定日 令和4年4月1日）

入札執行官署 国土交通省航空局

落札金額 ￥26,884,440 -

落札者 首都圏ビルサービス協同組合

予定価格 ￥45,817,370 -

積算額 ￥45,817,370 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥41,652,155 -

調査基準価格 ￥27,490,422 - 調査基準価格の100/110 ￥24,991,293 -

低入札価格調査実施済 第1回 落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘要
	入札金額	入札金額	
首都圏ビルサービス協同組合	24,440,400		第1回 落札
サンエス警備保障株式会社	26,980,000		
全協ビル管理連合協同組合	辞退		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要（物品の製造又は役務の提供等）

件 名：令和4年度性能評価センター庁舎等警備請負

発注機関：国土交通省 航空局

調査対象業者名：首都圏ビルサービス協同組合

項 目	内 容
(1) その価格により入札した理由	<p>調査対象業者からの提出資料によると、調査対象業者は、国からの警備契約を複数受注しており、特に航空保安に関する警備業務に精通し実績を重ねている経緯があり、本件（性能評価センター庁舎等警備）は令和2年度より業務実績がある。</p> <p>本件は、調査対象業者の経営方針により単独受注での利益確保は難しいものの、必要最低限の経費を確保したうえで、会社全体の利益で吸収できる範囲の価格で応札したことにより、本価格での応札を行ったものである。</p>
(2) 当該契約の履行体制	<p>本件の業務実施については、履行中の連絡体制が構築されており、履行体制に問題はないと考えられる。</p>
(3) 当該契約期間中における他の契約請負状況	<p>当該契約中に11件の業務を請け負っているが、履行に必要な警備員は確保されていることを確認したことから、本件の履行にあたり支障はない。</p>
(4) 手持機械等の状況	<p>本件の履行にあたり必要となる制服や装備品については、自社で用意するため本件の履行にあたり支障はない。</p>
(5) 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した契約件名及び発注者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京国際空港保安警備業務 関東地方整備局 ・ 東京国際空港警備業務請負 東京航空局
(6) 経営内容	<p>調査対象業者の経営状況は、決算報告書から、健全な経営が行われていると判断する。</p> <p>また、国等から多くの警備業務を受注・履行しており、信用状況は良好と判断する。</p>
(7) (1)から(6)までの事情聴取した結果についての調査検討	<p>調査対象業者は、これまで航空局発注の警備業務に関する履行実績があり、経営状況も決算報告書等から健全な経営をしていると判断できる。また調査対象業者は、履行体制及び連絡体制を整えており、経験豊富な警備員を配置することで業務の適切な実施を確保することが可能となっている。</p>

	よって、調査対象業者の入札価格は調査基準価格を下回っているものの、契約の履行について支障はないものと判断する。
(8) 信用状況	過去に受注した業務において、不履行を発生させたことはないことから、信用状況は良好と判断する。
(9) その他の必要な事項	特になし。